

地域再生計画（汚水処理整備交付金）事後評価調査

都道府県名	青森県	事業実施主体	青森県三戸町	地域再生計画名	【『水辺』の再生から『地域』の再生へ さんのへ』計画
計画期間	平成25年度～平成27年度	交付金受付期間	平成25年度～平成27年度		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値			評価	最終目標値の実現状況に関する評価
	指標1	指標2	基準年度		年度	中間実績	基準年度	直近値			
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	汚水処理人口普及率を35.2%から37.4%に向上	35.2%	H24			37.4%	H27	38.5%	○	公共下水道、浄化槽の整備を行ったことにより、目標を達成する見込である。
	指標2	産直施設における販売額を105,000千円から120,000千円に向上	105,000千円	H24			120,000千円	H27	148,000千円	○	農産物の販売及びグリーンツーリズムの促進により、産直施設の販売額は目標を達成する見込となった。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1	農業の活性化及び町産業の活性化	-	H24			-	H27	-	○	汚水処理施設の普及により農産物の生産環境が一歩ずつ改善している。
	指標2										
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価					
特別措置を適用して行う事業			計画	中間年度(H)	最終実績						
		公共下水道事業（整備延長）	1,750m		1,367m	人口密集地での整備となったことからm当たりの整備費が増となり、整備延長は計画値を下回る結果となった。一方で、整備世帯は多かつたため、指標である汚水処理人口普及率は目標を上回ることができた。今後は、人口密集地等の要因も踏まえて整備量を計画することが必要と考える。					
		個人設置型浄化槽（整備基数）	30基		30基	計画通り整備することができた。					
その他の事業		農産物消費拡大事業	産直施設及び宅配による農産物販売を促進している			贈答用リンゴの販売は横ばいであったが、産直施設での販売額は大きく伸びた。今後も販売額を伸ばしていく予定である。					
		農業体験を通じた町のPR活動	都市部の修学旅行生の受け入れによる三戸町のPR活動			東日本大震災の影響により受入数は減少傾向だったが、回復傾向となってきた。					
		住民ボランティアによる植林及び清掃活動	ボランティア団体による植林活動及び町内会による清掃活動の実施			ボランティアによる年2回の植林活動と町内会による年3回の清掃活動を行った。環境保護のため、今後も活動を継続していく。					
計画外で独自に実施した事業											
④計画全体の総合評価	水は農産物の生産にも次世代を担う子供たちの育成のためにも欠かせないものである。三戸町では、水の再生が町の活性化につながると考え、汚水処理施設の整備に取り組んでいる。今回の計画においては、公共下水道の整備延長は計画を下回ったものの、核となる汚水処理人口普及率については目標を上回る結果となった。関連事業においても、産直施設での農産物販売額について目標を達成することができた。また、公共下水道の整備に伴い、大型店舗が新規開店したり、新規アパートが建設されるなど、汚水処理施設の整備が地域の活性化につながっており、全体として、事業実施効果があったものと考えている。										
⑤今後の方針等	汚水処理施設の整備による公共用水域の水質保全は、一歩ずつではあるが農産物生産環境と地域の活性化につながっていく。また、水道取水地上流に位置していることから、水質保全の責務を負っている。このため、下水道未整備地域及び浄化槽整備地域において引き続き事業を実施していきたいと考えている。また、個人設置型浄化槽整備事業については目標を達成できたことから、更に整備基数を増加させ、汚水処理人口普及率の向上を図りたい。										